

大野では全小中学校がコミュニティスクールとなり

地域とともにある学校づくりを目指しています

「コミュニティスクール」とは、学校と保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、三者が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

大野町では全小中学校をコミュニティスクールに指定し、「学校運営協議会」の皆さんが「学校の課題」や「目指す子どもの姿」を共通理解し、学校と地域が一体となった学校づくりを進めています。

現在、大野町ではコミュニティスクールとして、次のような活動が進められています。

1. 地域の教育力を活かした学校教育の充実

- 地域人材を活用した学習支援（教科学習支援、読み聞かせ、地域の歴史・偉人など）
- 校外学習・地域学習の支援（米・柿・野菜作り、環境・史跡など）
- 豊かな心の育成・キャリア教育の推進（職業講話、職場体験など）
- クラブ・部活動の指導（講師、社会人コーチなど）
- 学校の環境整備（校庭の草刈り、剪定、花壇、校内修繕など）
- 安心・安全教育への支援（交通安全指導、防犯・防災指導など）
- 学校行事への支援（体験活動講師・ふれあい活動講師など）



2. 地域における活動の充実

- 子どもや大人がみんなで集える活動（区民運動会、青少年育成行事など）
- 公民館関係の活動（公民館祭り、夏休み子ども教室、各種講座など）
- 放課後、休日などの活動（学習支援・スポーツ活動など）



3. 地域・家庭・学校による活動の充実

- 地域行事への積極的参加や地域貢献の促進（子ども会活動、地域づくり活動など）
- 地域と学校が一体となって取り組む活動（あいさつ運動、奉仕活動など）
- 安心・安全を地域で取り組む活動（登下校の見守り、明るい家庭づくりなど）



コミュニティスクールを核とした「地域学校協働活動」の充実を願って

「地域学校協働活動」とは、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

大野町では、地域学校協働活動の本部を各地区公民館に置き、公民館運営に関わる地域の皆さんや各種団体、企業などと連携して活動を進める体制を整えてきました。

現在、学校と公民館のつなぎ役である「地域学校協働活動推進員」を公民館主事が担当し、地域と学校の連携を進めているところです。

地域にある学校が求めていることや、地域の子どものをどのように育てたいかを共通理解し、地域学校協働活動への皆さんのご参加・ご協力をお願いします。

